



■モデル車は
トヨタ・セルシオ

ベース車庫セダン用 3056BSB

生地 JANコード
SB 4984665181815

間口A	間口B	間口C	奥行	高さA	高さB	アーチ本数	パイプ径
3.0m	2.82m	2.0m	5.6m	2.35m	1.8m	8本	25.4mm



ベース車庫セダン用 3056BGR

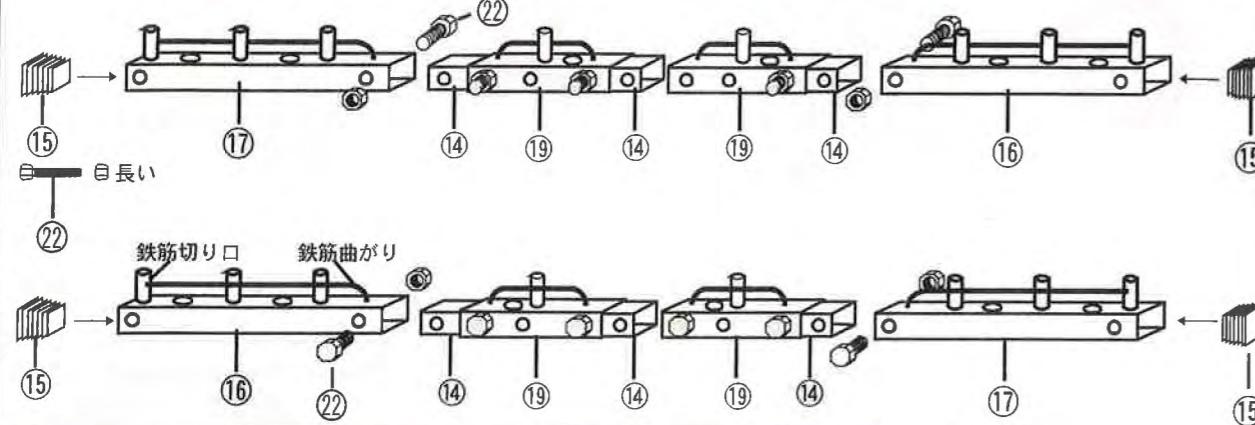
■モデル車は
トヨタ・カムリ

生地	JANコード
GR	4984665181808

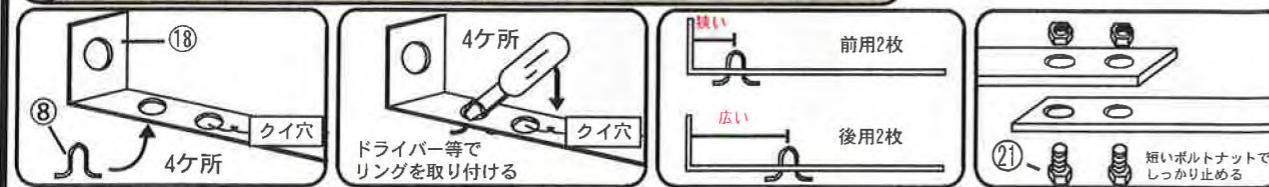
間口A	間口B	間口C	奥行	高さA	高さB	アーチ本数	パイプ径
3.0m	2.82m	2.0m	5.6m	2.35m	1.8m	8本	25.4mm

1 ベース用角パイプの組み立て 長いボルトナットでしっかり止める。

※下図の様に、向きに注意して組み合わせる。 【注】 鉄筋の切り口・曲がり向きに十分注意して下さい。



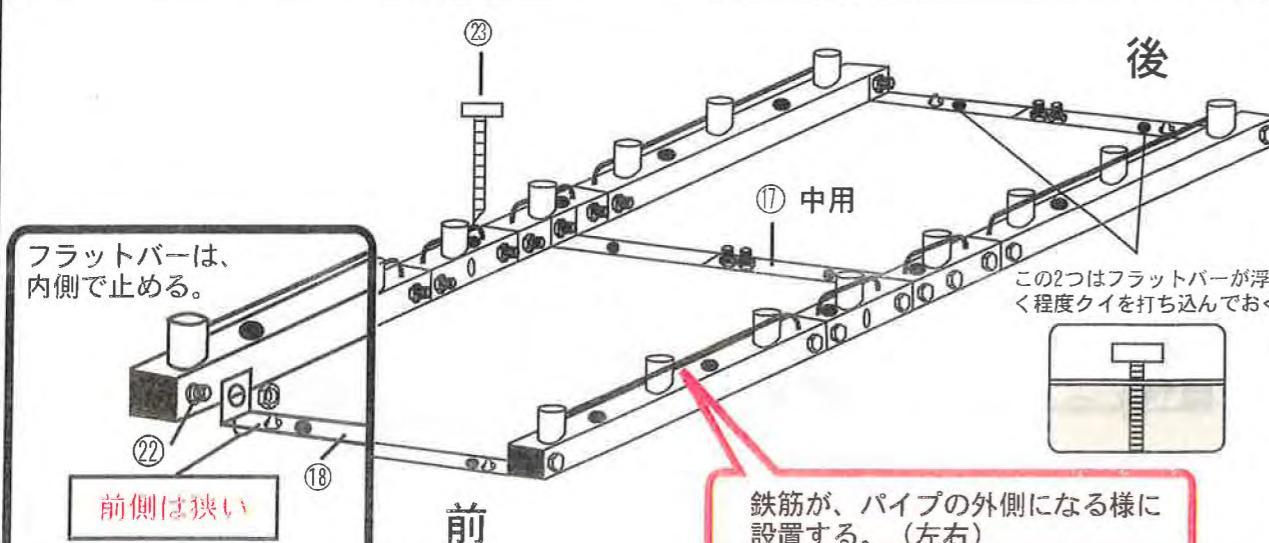
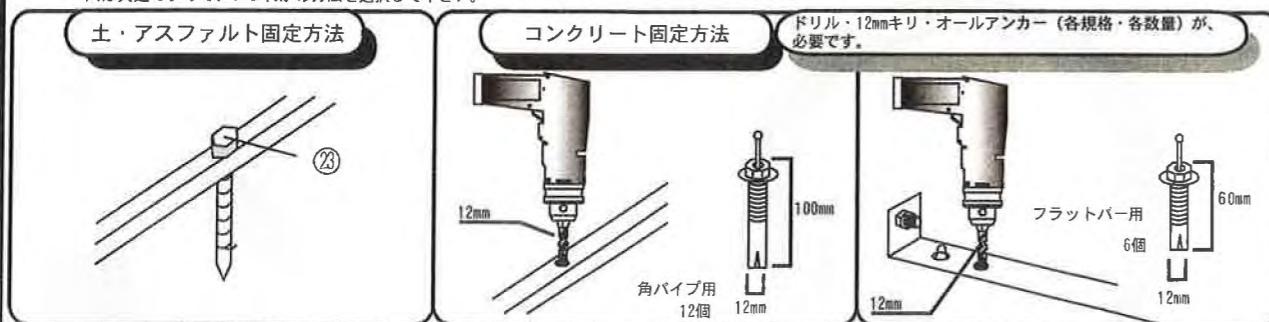
2 フラットバーにリングを取り付けて、繋ぐ。



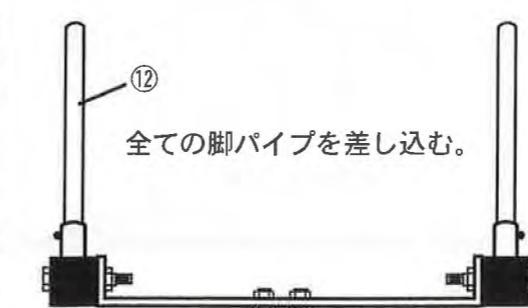
3 フラットバーをベース角パイプの内側に取付け、クイ穴に鉄筋クイを打ち込みしっかり固定する。

【注】 安全の為、下図の様な固定をして下さい。

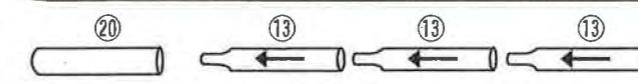
穴は共通ですので、いづれかの方法を選択して下さい。



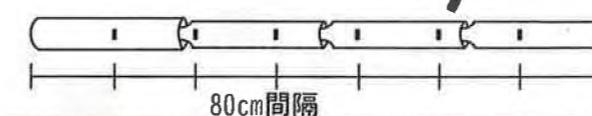
4 脚パイプを差し込む。



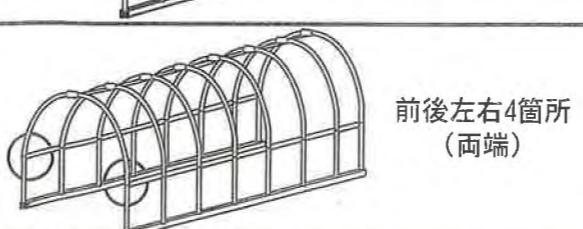
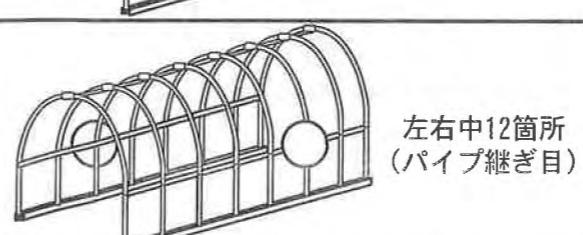
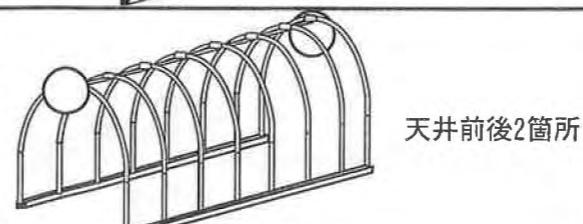
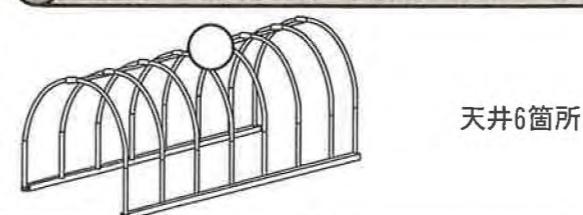
6 横通しパイプを繋ぎ、印を付ける。



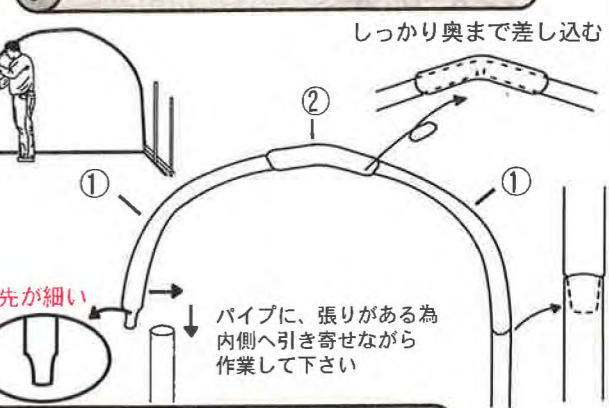
次項のパイプ間隔を均一にする為。



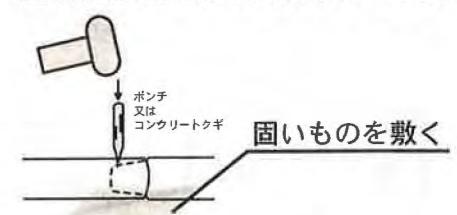
7 横通しパイプを取り付ける。



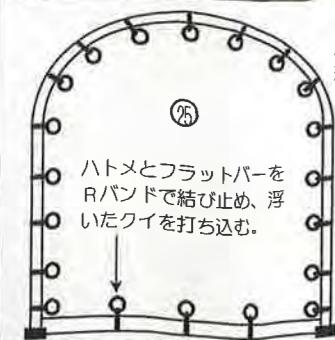
5 アーチパイプを組み、差し込む。



!
全ての継ぎ目を抜けないようにする。
(完成後、風などの揺れで、抜ける事が有ります)



8 後幕を張る。

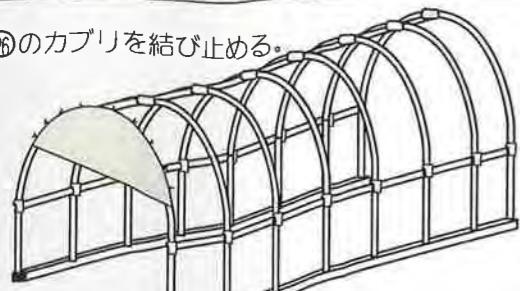


ハトメとパイプを⑦のRバンドで結び止める。

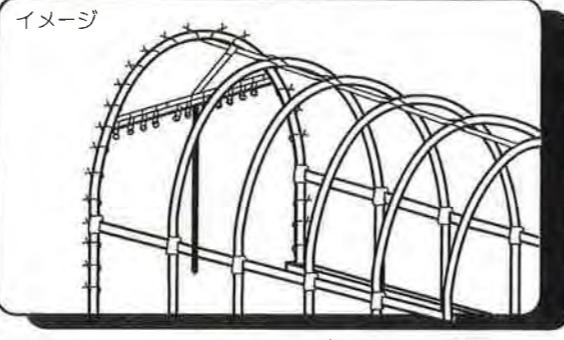
ハトメ
⑤

ハトメとフラットバーをRバンドで結び止め、浮いたクイを打ち込む。

⑥のカブリを結び止める。



9 前幕を張る。



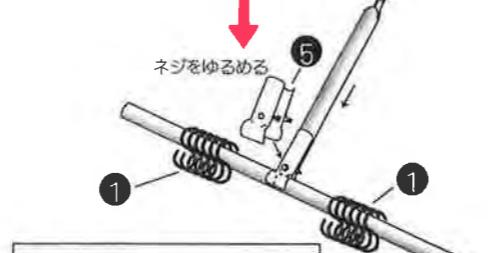
イメージ

パイプ

ハトメ
⑦



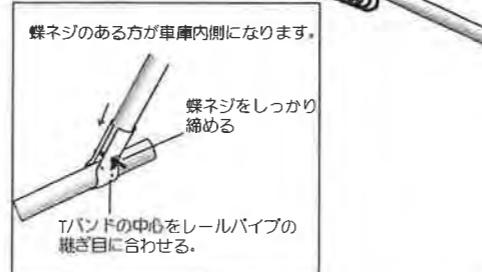
⑩ レールパイプ
⑨ レールパイプ



ネジをゆるめる

⑤

①



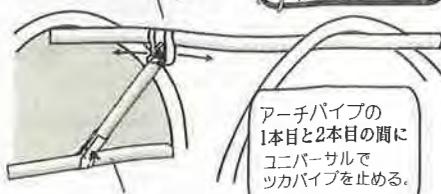
蝶ネジのある方が車庫内側になります。

蝶ネジをしっかり締める

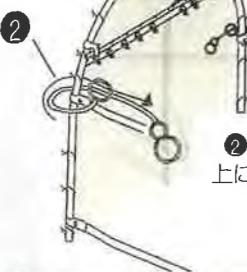
T/バンドの中心をレールパイプの
難ぎ目に合わせる。



コニバーサルで止める。
④
コニバーサル
(φ22)



小ルート車庫の内側
に沿着ように



②を左右横通しパイプの
上に取り付ける。

ファスナーより左右5個通す。

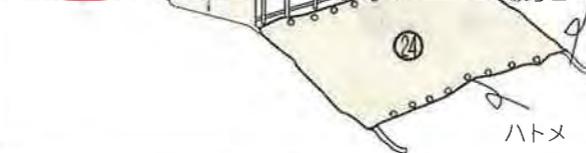
パイプと結び止める
⑥



開けた状態

10 天幕を広げてかぶせる。

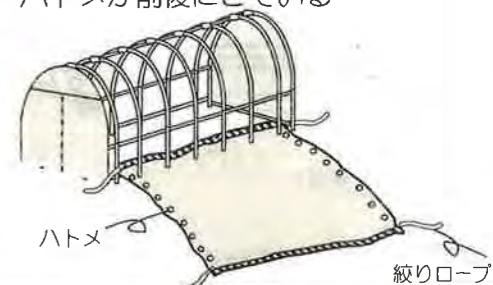
袋から取り出してそのまま広げると、張れません。



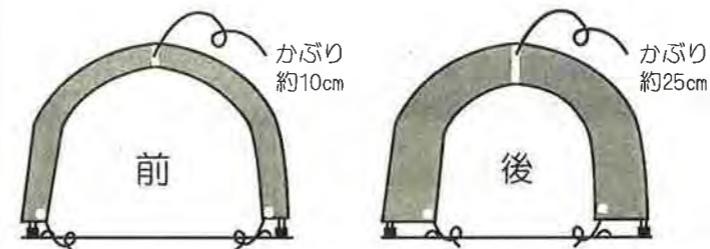
【注】

- シートを引きずらない。
- 周辺を整理して、キズがつかないようにする。
- 風の強いときは作業しない

ハトメが前後にきている

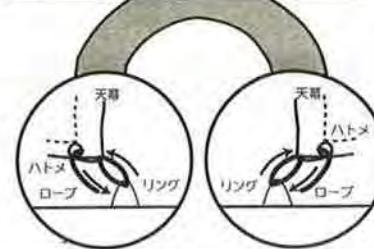


天幕継りロープを全て仮止めする。



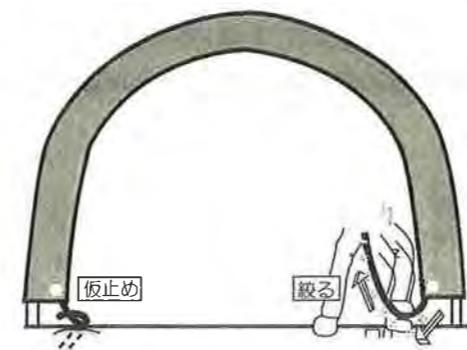
かぶり
約10cm

かぶり
約25cm

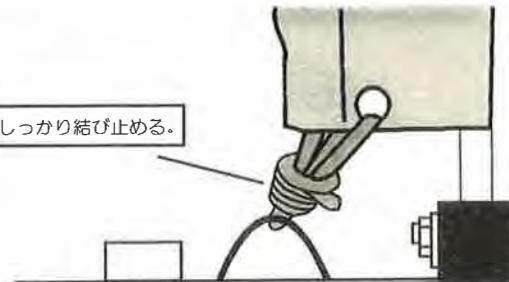


前後のかぶり・左右すき間を確認しながら

1. 片方のリングからロープを外し、ロープを引き上げる。
2. ロープを引き上げたまま、足を上下に動かしてロープを踏み込み絞る。
3. ピーンとロープを張つたら、しっかりとリングに結び止める。
4. 片方の仮止めをしっかりと止め直す。
5. 反対側（前をしたら後）も同じ要領です。



しっかりと結び止める。

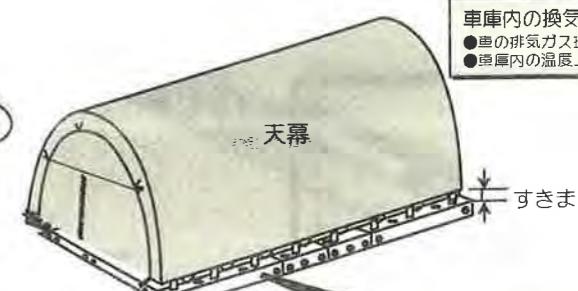


※車庫に前幕、後幕、天幕を張ったとき下部にすきまができますが、これは下記理由によりあらかじめすきまのできるように設計されております。

車庫内の換気をよくする。
●車の排気ガス換気のためなど。
●車庫内の温度上昇防止。



絞りしわを、
○印の位置にまとめる。



天幕のハトメとベースの鉄筋を
Rバンドでしっかりと結び止める。

*裏面『安全上の注意』を先にお読み下さい。

3056B

部材表

間口：約300cm
高さ：約235cm
奥行：約560cm

保存

No.	品名	数量	規格	形状	No.	品名	数量	規格	形状		
A ケース											
①	アーチ用パイプ	16	25×180cm(S)		⑯	ベース用角パイプ	2	50×50×200cm			
②	外ジョイント	8	28×18cm		⑰	ベース用角パイプ	2	50×50×200cm			
③	棟面クロス	4	25×22		⑯	フラットバー	2	32×155cm			
④ ⑤	同じ袋に入っています						2	32×155cm			
④	ピーククロス	2	28×22				2	32×155cm			
⑤	キャップ	2	22φ用				D ケース				
⑥	フックバンド	18	25×22 28×22 兼用		⑯	ベース用角パイプ	4	50×50×83cm			
⑦	Rバンド	1	70M		⑰	横通し用パイプ	3	22×140cm			
⑧	リング	4			⑲	ボルトナット	6	M8×15			
⑨	レールパイプ	1	19×113cm(S)		⑳	ボルトナット	18	M10×65			
⑩	レールパイプ	1	19×107cm		㉑	鉄筋クイ	18	40cm			
⑪	ツカパイプ	1	19×38cm(PH)		天幕セット ケース						
B ケース											
⑫	脚用パイプ	16	25×140cm		㉔	天幕	1	約 幅=620cm 長さ=600cm			
⑬	横通し用パイプ	9	22×146cm(S)		㉕	後幕	1				
⑭	ベース用中継ぎ角パイプ	6	45×45×20cm		㉖・①・②・③・④・⑤ 同じ袋に入っています						
⑮	角パイプ用キャップ	4			㉗	前幕	1				
必要工具を準備する。											
	手袋 (作業)		ハンマー (部品取り付け)		ポンチ又は コンクリートクギ (パイプ組立)		プライヤー (部品取り付け)				
	スパナ (部品取り付け)		マジック (パイプ印付け用)		カッター (バンドカット)		梯子 (作業)				
※シートは張り替え用があります、販売店にお問い合わせ下さい。 ※シートに、機種名記入シールが貼付しております。 張り替え幕等、お問い合わせの際、機種名が必要となりますので、 すぐ確認できるように剥がさずに使用して下さい。											
写真は前幕を開けた状態です。											



安全上のご注意

保存版

平成21年3月改訂版

この商品を安全に正しく使用していただく為に、組み立てられる前にこの『安全上のご注意』を良くお読みの上、

十分に理解していただき正しくお使いください。

※お読みになった後は、必ず保管してください。

■ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

■表示の意味は、次のようにになっています。



警告

誤った取り扱いをしたとき、人が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

誤った取り扱いをすると、人が重傷を負ったり物的損害の発生が、想定される内容を示します。

！ 警告

◇次の場所には、設置しないでください(崩壊の危険性)

○風当たりが強い場所 ○特に地盤の弱い場所

○雪がまとまって落ちる恐れがある場所

○雪が吹溜まりになる場所 ○焼却炉等、火気の付近

◇風の強い時、あるいは強風が予想される時は、全てのシートを取り外してください。(車庫が風に飛ばされて、思わぬ災害のもとになります。)

◇積雪時には、非常に危険ですので絶対に入らないでください。

※(特に子供さんには、指導してください。)

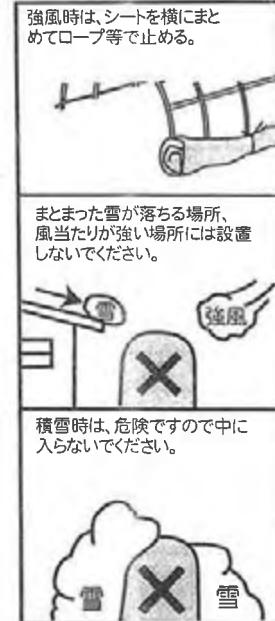
◇積雪時には随時除雪作業を行ってください。

◇製品に、火気等を近づけないでください。(火災の原因になります。)

◇天候の悪い日は、組み立て作業・補修作業をしないでください。(災害のもとになります。)

◇ベース部を完全に固定した後、シートを張ってください。

◆いずれの作業時も、安全を確認してください。



！ 注意

◇設置場所によっては、付属の固定杭では不十分の場合がありますので、別途補強を行ってください。

◇車庫内で暖気運転をされる場合は、前後幕付きの場合は前幕を開けるなどして換気を十分行い、マフラーがシートに近づき過ぎないように十分注意してください。

◇パイプ等に物を掛けたり、ぶらさがらないでください。(破損・けがの原因になります。)

※(特に子供さんには、指導してください。)

◇前後幕付きの場合車両出入り時以外は、ファスナーを完全に閉めてください。

(風により車両に、ファスナー及びシートがあたり、キズを付ける可能性があります。)

◇シートの破れ及び、パイプのつぶれ等のある時は、予想出来ない危険を伴う事がありますので気付いた時点で本製品をお買い上げいただきました販売店で、破損部材を買い換えてください。

◇蝶ネジの締め付けにはプライヤー等工具を使用して下さい。

◇ボルト・ナット、蝶ネジ等は、定期的に緩みがないか確認をして下さい。

◆いずれの作業時も、安全を確認してください。